

令和7年度 韮崎市健康づくり推進協議会・食育推進委員会

第1回委員会

日 時：令和7年10月23日（木）

午後3時30分より

会 場：韮崎市役所

別館301 会議室

次 第

開 会

1. 課長あいさつ
2. 委員の紹介
3. 委員会概要説明
4. 会長の選出
5. 会長あいさつ
6. 議 事
 - （1）市民アンケート結果について 資料1、資料2-1～2-5（事前送付）
 - （2）前計画の評価について 資料3-1、3-2、別紙1
 - （3）新計画の構成について 資料4
 - （4）その他
7. その他

閉 会

健康づくり課 連絡先

メール kenkou@city.nirasaki.lg.jp

電話 0551-23-4310

FAX0551-23-4316

韭崎市健康づくり推進協議会 委員名簿

団体名	役職	氏名	備考
山梨県中北保健所	所長	津金 永二	
韭崎北西小学校	韭崎市小中学校校長会 幹事長	横内 理香	
韭崎市医師会	会長 千野眼科医院	千野 公久	新
韭崎市歯科医師会	会長 にこにこクリニックHIRO歯科	市川 寛子	
韭崎市立病院	院長	井上 泰輔	
韭崎おはな産婦人科	院長	海部 真美子	
韭崎市民生委員児童委員協議会	会長	一木 芳恵	
韭崎市国民健康保険運営協議会	地区長連合会 副会長	樋口 志郎	新
韭崎市公民館連絡協議会	会長 中央公民館	仲澤 俊彦	
韭崎市スポーツ推進委員会	会長	金丸 光太郎	
韭崎市愛育会	会長	山本 幸子	
韭崎市食生活改善推進員会	副会長	近藤 明美	
韭崎市地域包括支援センター	代表 韭崎市保健福祉センター	保坂 由美	新

韭崎市食育推進委員会 委員名簿

団体名	役職	氏名	備考
学校(栄養教諭)	韭崎西中学校	西谷地 友子	
市立保育園園長代表	たんぽぽ保育園	横田 あゆみ	
私立幼稚園園長代表	韭崎カトリック白百合幼稚園 園長	依田 恵美子	新
韭崎市食生活改善推進員会	会長	高橋 純枝	
梨北農業協同組合	営農部振興指導課 課長	秋山 崇	新
山梨県中北保健所	健康支援課 課長	小林 由紀子	新
管理栄養士・栄養士代表	管理栄養士	遊佐 渚	
韭崎市教育課	指導主事	川端 純一	
こども子育て課 保育担当	管理栄養士	小林 香奈	新
韭崎市農政課 農林振興担当	リーダー	内藤 宏貴	

健康増進計画（3次）（R3～R7）評価項目一覧

基本施策1 健康管理体制の推進

（1）生活習慣病の発症予防・早期発見・重症化予防

P56

実績値 令和2年	目標値 令和7年	出典	実績 【R6】	評価 目標：実績比	判定
2.7	1.0	①	5.4	18.52%	D
17.6	10.0	②	11.8	84.75%	B
8.5	8.5	②	11.6	73.28%	C
14.8	10.0	②	11.7	85.47%	B
7.5	7.5	②	14.3	52.45%	C
51.3	60.0	①	54.7	91.17%	B
18.2	18.0	③	19.5	92.31%	C
57.0	50.0	①	48.4	103.31%	A
39.3	35.0	①	35.4	98.87%	B
1.0	0.0	⑥	3.0	0.00%	D
68.6	50.0	①	57.7	86.66%	B
35.9	30.0	①	31.8	94.34%	B
12.8	10.0	①	22.1	45.25%	D
7.8	7.0	①	16.4	42.68%	D
31.6	25.0	④	28.6	87.41%	B
16.5	15.0	④	17.6	85.23%	C
21.6	20.0	④	23.3	85.84%	C
9.0	10.5	⑤	9.9	106.06%	A
16.3	19.0	⑤	17.5	108.57%	A

- ①令和元年度健康づくり課実績
- ②令和元年度小・中学校体育集計
- ③平成30年度法定報告
- ④令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】
- ⑤令和元年度長寿介護課実績
- ⑥令和元年度福祉課実績

P57

（2）がんの発症予防・早期発見・重症化予防

P59

20	がん予防教育を実施する小・中学校数	7.0	7.0	①	7.0	100.00%	A
21	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	68.9	65.0	②	51.8	125.48%	A
22	がん検診の受診率（胃がん）	11.3	13.0	②	13.0	100.00%	A
23	がん検診の受診率（大腸がん）	13.6	15.0	②	31.0	206.67%	A
24	がん検診の受診率（肺がん）	10.4	16.0	②	21.1	131.88%	A
25	がん検診の受診率（乳がん）	22.4	25.0	②	16.6	66.40%	C
26	がん検診の受診率（子宮頸がん）	18.2	20.0	②	18.5	92.50%	B
27	がん精密検査受診率	73.6	75.0	②	55.4	73.87%	C

- ①令和元年度教育課実績
- ②令和元年度健康づくり課実績

健康増進計画（3次）（R3～R7）評価項目一覧

（3）母子保健施策の推進

P61								
28	妊娠中の喫煙率		2.7	0.0	①	1.3	0.00%	D
29	妊娠中の飲酒率		0.0	0.0	①	0	0.00%	A
30	全出生数中の低出生体重児の割合の減少		10.3	減少	①	16.9	—	D
31	出産前にパパ・ママ学級に出席した母親の人数		50.0	増加	①	41	—	D
32	出産前にパパ・ママ学級に出席した父親の人数		27.0	増加	①	35	—	A
33	積極的に育児をしている父親の割合（1歳6か月児健診問診）		88.7	90.0	①	92.1	102.33%	A
34	いのちの教育を実施する小・中学校の数		7.0	7.0	②	7.0	100.00%	A

- ①令和元年度健康づくり課実績
- ②令和元年度教育課実績

（4）感染症対策の推進

P63							
35	1歳までにBCGの予防接種をしている子どもの割合	99.0	99.0	①	95.5%	96.5%	C
36	1歳6か月までに四種混合（DPT-IPV）の予防接種をしている子どもの割合	96.0	99.0	①	100.0%	101.0%	A
37	2歳までにMR（麻しん風しん混合）第1期の予防接種をしている子どもの割合	95.0	98.5	①	91.0%	92.4%	C

- ①令和元年度健康づくり課実績

基本施策2 生活習慣と社会環境の改善

（1）栄養・食生活の改善と適切な食習慣の定着

P65	38	朝食を欠食する乳幼児の割合	2.1	0.0	①	3.00	0.00%	D
	39	朝食を欠食する小学生・中学生・高校生の割合（合算）	12.4	5.0	①	18.45	27.10%	D
	40	学校給食における地場産物の使用割合（山梨県産）	28.3	30.0	③	27.87	92.90%	C
	41	家での食事を楽しく食べている小学生・中学生の割合（合算）	80.5	85.0	①	79.84	93.93%	C
	42	朝食を毎日食べる男性の割合	81.6	90.0	②	73.9	82.11%	C
	43	朝食を毎日食べる女性の割合	86.9	90.0	②	80.8	89.78%	C
	44	20歳代女性のやせ（BMI18.5未満）の割合	17.9	17.0	②	7.1	239.44%	A
	45	食生活を改善したいと思う人のうち「野菜が不足している」と答えた人の割合	45.9	40.0	②	22.8	175.44%	A
	46	食事バランスガイドの認知度	20.3	60.0	②	44.0	73.33%	B
	47	やせ（BMI20未満）の高齢者の割合の増加の抑制	15.7	20.0	②	25.5	78.43%	C

- ①令和2年度実施の市民アンケート調査結果【若年層調査】
- ②令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】
- ③令和元年度教育課実績

健康増進計画（3次）（R3～R7）評価項目一覧

(2) 身体活動・運動習慣の定着

P67	実績値 令和2年	目標値 令和7年	出典	実績 【R6】	評価 目標：実績比	判定
48	学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツの実施率（小学5年生男子）	98.4	98.5	①	100.0	101.52% A
49	学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツの実施率（小学5年生女子）	98.2	98.5	①	98.8	100.30% A
50	学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツの実施率（中学2年生男子）	96.2	98.0	①	98.9	100.92% A
51	学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツの実施率（中学2年生女子）	92.2	98.0	①	95.5	97.45% B
52	運動習慣のある20～64歳の男性の割合	31.2	36.0	②	29.0	80.56% C
53	運動習慣のある20～64歳の女性の割合	23.4	33.0	②	22.8	69.09% C
54	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）を認知している人の割合	24.1	80.0	②	21.1	26.38% D

- ①令和元年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果より（教育委員会資料）
- ②令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】

(3) 休養・こころの健康の保持・増進

P69	55	ゆったりとした気持ちで子どもとすごせる時間のある保護者の割合	84.0	90.0	①	83.5	92.78% C
	56	就寝時刻の遅い小学生の割合（10時以降）	6.5	6.0	②	37.5	16.00% D
	57	就寝時刻の遅い中学生の割合（12時以降）	14.7	10.0	②	4.1	243.90% A
	58	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	27.8	15.0	③	56.1	26.74% D
	59	健康（「すこぶる」「まあまあ」）だと思う人の割合	88.0	90.0	③	84.9	94.33% C
	60	老壮大学の学生数	282.0	270.0	④	229.0	84.81% C
	61	友人や仲間とのつきあいに生きがいを感じている高齢者の割合	52.9	55.0	③	41.5	75.45% C
	62	働くことに生きがいを感じている高齢者の割合	43.8	45.0	③	24.5	54.44% C
	63	趣味の活動に生きがいを感じている高齢者の割合	43.8	45.0	③	45.7	101.56% A
	64	地域での友人との交流の場がない高齢者の割合の減少	17.6	20.0	③	37.2	53.76% C

- ①令和元年度健康づくり課実績
- ②令和2年度実施の市民アンケート調査結果【若年層調査】
- ③令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】
- ④令和元年度長寿介護課実績

(4) たばこに関する知識の普及と禁煙・受動喫煙防止の推進

P72	65	小・中学校における禁煙教育の実施	7.0	7.0	②	7.0	100.00% A
	66	男性の喫煙率の減少	29.1	24.5	③	19.0	128.95% A
	67	女性の喫煙率の減少	7.2	5.4	③	8.0	67.50% C
	68	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度	33.8	80.0	③	30.8	38.50% D
	69	受動喫煙で不快な思いをしている人の割合	67.2	減少	③	68.7	－ D
	70	市内の禁煙外来が設置されている医療機関の認知度	35.8	50.0	③	32.0	64.00% C

- ①令和元年度健康づくり課実績
- ②令和元年度教育課実績
- ③令和2年度実施の市民アンケート調査結果

健康増進計画（3次）（R3～R7）評価項目一覧

（5）アルコール・薬物に関する正しい知識の普及と適正飲酒の推進

P74	71	小・中学校における禁酒教育の実施	7.0	7.0	②	7.0	100.00%	A
	72	飲酒する男性のうち生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する男性の割合	29.6	13.0	③	57.7	22.53%	D
	73	飲酒する女性のうち生活習慣病のリスクを高める量を飲酒する女性の割合	25.5	7.7	③	52.9	14.56%	D
	74	睡眠のために睡眠薬や精神安定剤、アルコール等に頼る男性の割合	25.8	20.0	③	21.1	94.79%	B
	75	睡眠のために睡眠薬や精神安定剤、アルコール等に頼る女性の割合	14.8	10.0	③	14.9	67.11%	C
	①令和元年度健康づくり課実績							

②令和元年度教育課実績

③令和2年度実施の市民アンケート調査結果

（6）歯及び口腔の健康の保持・増進

P76	76	3歳児歯科健診の結果、う歯（虫歯）がなかった幼児の割合	84.9	90.0	①	89.2	99.11%	B
	77	う歯（虫歯）罹患率（小学校平均値）	45.8	45.0	②	26.0	173.08%	A
	78	う歯（虫歯）罹患率（中学校平均値）	29.2	30.0	②	28.3	106.01%	A
	79	よく噛んで味わって食べる小学生・中学生・高校生の割合（合算）	67.0	70.0	③	69.4	99.14%	B
	80	60歳以上で24歯以上の自分の歯を持つ人の割合	45.7	70.0	④	52.6	75.14%	B
	81	過去1年間で歯科健診を受けた人の割合	38.9	65.0	④	41.3	63.54%	B
	82	口腔ケア（歯磨き・義歯の手入れ）を1日1回以上行っている高齢者の割合	-	70.0	⑤	73.6	105.14%	A
	83	口腔内の健康状態がよく、食事をおいしく食べられる高齢者の割合	-	65.0	⑤	62.4	96.00%	B
	①令和元年度健康づくり課実績							
	②令和元年度教育課実績							
	③令和2年度実施の市民アンケート調査結果【若年層調査】							
	④令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】							
	⑤本計画からの新規項目							

基本施策3 健康づくりを支援する体制の整備

（1）健康づくりを推進する環境の整備

P78	84	ウォーキングイベントへの参加者数	1,592	1,700	①	802	47.18%	D
	①令和元年度教育課実績+健康づくり課実績							

（2）関係団体との連携・協働

P80	85	韮崎市健康づくり推進協議会の定期開催	1.0	1.0	①	1.0	100.00%	A
	86	韮崎市食育推進委員会の定期開催	1.0	1.0	①	1.0	100.00%	A
	①令和元年度健康づくり課実績							

達成率が100%以上のもの、目標を達成した	A	28
R2現状態より改善したが目標を達成していない	B	16
R2現状態より悪化 かつ達成率50%以上	C	25
R2現状態より悪化 かつ達成率50%未満	D	17
数値が未把握や把握困難等で判定ができないもの	E	0

食育推進計画（3次）（R3～R7）評価項目一覧

基本施策1

食を通じて健康づくり

P83

	実績値 令和2年	目標値 令和7年	出典	実績 【R6】	評価 目標：実績比	判定
1 朝食を欠食する小学生の割合	6.5	5.0	①	9.8	51.0%	C
2 朝食を欠食する中学生の割合	10.3	5.0	①	15.5	32.3%	D
3 朝食を欠食する20～30歳代の男女の割合	28.5	15.0	②	37.5	40.0%	D
4 夕食を家族そろって食べる小学生の割合	79.7	85.0	①	75.0	88.2%	C
5 夕食を家族そろって食べる中学生の割合	79.0	85.0	①	73.0	85.9%	C
6 夕食を家族そろって食べる高校生の割合	65.2	70.0	①	65.0	92.9%	C
7 朝食・夕食をどちらも1人で食べる20～60歳代の男女の割合	16.8	15.0	②	27.0	55.6%	C
8 朝食・夕食をどちらも1人で食べる70歳代の男女の割合	24.7	20.0	②	8.1	246.9%	A
9 メタボリックシンドロームの予防や改善のために、適正な食事や運動等を継続的に実施している人の割合	25.8	50.0	②	25.0	50.0%	C
10 よく噛んで味わって食べている20～70歳代の男女の割合	65.0	72.0	①	69.0	95.8%	B

①令和2年度実施の市民アンケート調査結果【若年層調査】

②令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】

基本施策2 多方面からの食育活動の推進

P85

11 食育に関心のある人の割合	45.4	70.0	①	46.0	65.7%	B
12 食事バランスガイドを参考にしている人の割合	20.3	30.0	①	19.0	63.3%	C
13 食育に関するイベント（料理教室等）に参加したいと考えている人の割合	-	40.0	②	30.0	75.0%	E

①令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】

②本計画からの新規項目

基本施策3 豊かな食文化と食の大切さの推進

P88

14 郷土料理を知っている20～30歳代の男女の割合	35.8	60.0	②	66.1	110.2%	A
15 表示を見て食品や食材を買う中学生・高校生の割合（合算）	28.0	50.0	③	77.9	155.8%	A
16 非常用食料の備蓄を行っている人の割合	43.0	45.0	②	53.0	117.8%	A
17 環境に配慮した食生活（食べ残しやごみを少なくする等）を送っている人の割合	88.9	90.0	②	91.0	101.1%	A
18 ごみのリサイクル率（リサイクルされた量／ごみの総排出量）	10.0	13.7	④	9.53	69.6%	B

①令和元年度教育課実績

②令和2年度実施の市民アンケート調査結果【一般調査】

③令和2年度実施の市民アンケート調査結果【若年層調査】

④令和元年度市民生活課実績

達成率が100%以上のもの、目標を達成した	A	5
R2現状態より改善したが目標を達成していない	B	3
R2現状態より悪化 かつ達成率50%以上	C	7
R2現状態より悪化 かつ達成率50%未満	D	2
数値が未把握や把握困難等で判定ができないもの	E	1

いきいき健康プランにらさき

第 4 次 蕪 崎 市 健 康 増 進 計 画

第 4 次 蕪 崎 市 食 育 推 進 計 画

第 3 次 蕪 崎 市 自 殺 対 策 計 画

令和 8 年 3 月

目 次

はじめに

第1章 「いきいき健康プランにらさき」の基本的事項

- 1 計画の趣旨
- 2 計画策定の背景（国・県・本市の動向）
- 3 計画の期間
- 4 計画の位置付け

第2章 前計画の評価

- 1 評価の方法
- 2 目標達成状況の評価

第3章 市民の健康の状況

- 1 市民アンケート結果
- 2 人口動態
 - (1) 人口動態
 - (2) 平均寿命
- 3 疾病等の状況
 - (1) 死亡の状況
 - (2) 医療の状況
- 4 本市各種統計より

第4章 健康づくりの目標設定

- 1 取組みの方向性
- 2 目標の設定
- 3 計画の評価
- 4 他の計画における目標設定

第5章 健康増進の推進に関する取組み

1 個人の行動と健康状態の改善

(1) 生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防

- ① がん
- ② 循環器疾患
- ③ 糖尿病
- ④ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

(2) 生活習慣の改善

- ① 栄養・食生活
- ② 身体活動・運動
- ③ 休養・睡眠
- ④ 飲酒
- ⑤ 喫煙
- ⑥ 歯・口腔の健康

2 社会環境の質の向上

- (1) こころの健康・社会との繋がり
- (2) 自然と健康になれる環境づくり

第6章 第3次荊崎市食育推進計画

- 1 計画の位置付け
- 2 現状
- 3 施策の展開
- 4 数値目標

第7章 第3次荊崎市自殺対策計画

- 1 計画の位置付け
- 2 現状
- 3 施策の展開
- 4 数値目標

第8章 ライフコースアプローチを踏まえた事業の実施

- 1 次世代の健康（胎児期・乳幼児期・学童期・思春期・母子）
- 2 成人の健康（青年期・壮年期）
- 3 高齢者の健康（高齢期）
- 4 健康の保持・増進に関連する事業

第9章 計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・

資料編

第1章 「いきいき健康プランにらさき」の基本的事項

1 計画の趣旨

健康は、幸福の基礎となるもので、市民が生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るために、生活習慣の見直し・改善に取り組むことが大切です。本計画は、市民が健やかで心豊かに暮らせる持続可能な社会の実現を目指し、個人の行動の見直しと健康状態の改善及び社会生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上を進めることで、健康寿命の延伸の実現を目指します。また、取り組みにあたっては、個人の行動と健康状態の改善、社会環境の質の向上、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりにおいて、より実効性をもつ取り組みの推進をしていきます。

2 計画策定の背景

国の動向

健康日本 21（第三次）

期 間：令和6年度～令和17年度（12年間）

ビジョン：「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」

基本的方向：①健康寿命の延伸・健康格差の縮小

②個人の行動と健康状態の改善

③社会環境の質の向上

④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

【健康日本 21（第三次）】基本的な方針（抜粋）

平時から個人の心身の健康を保つため、健康づくりの取組を更に強化していくことが求められる。

～略～

平成25年度から令和5年度までの「健康日本21（第2次）」では、主に生活習慣病の発症予防に関する指標が悪化、健康増進に関連するデータの見える化・活用や国及び地方公共団体におけるPDCAサイクルの推進が不十分であること等の課題が指摘されている。また、少子化・高齢化による総人口・生産年齢人口の減少、独居世帯の増加、女性の社会進出、労働移動の円滑化、仕事と育児・介護との両立、多様な働き方の広まり、高齢者の就労拡大等による社会の多様化、あらゆる分野におけるデジタルトランスフォーメーションの加速、次なる新興感染症も見据えた新しい生活様式への対応の進展等の社会変化が予想されている。

これらを踏まえ、この方針は、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現に向け、誰一人取り残さない健康づくりの展開とより実効性をもつ取組の推進を通じて、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項を示し、令和6年度から令和17年度までの「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本 21（第三次））」を推進する。

県の動向

健やか山梨 21（第 3 次）

期 間：令和 6 年度～令和 17 年度（12 年間）

ビジョン：「すべての県民がいきいきと健やかに暮らせる持続可能な社会の実現」

基本的方向：①健康寿命の延伸と健康格差の縮小

②個人の行動と健康状態の改善

③社会環境の質の向上

④ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

本市のこれまでの策定状況

平成 26 年 3 月「第 2 次韮崎市食育推進計画」策定

平成 28 年 3 月「第 2 次韮崎市健康増進計画」策定

平成 31 年 3 月「自殺対策計画」策定

令和 3 年 3 月「いきいき健康プランにらさき 第 3 次韮崎市健康増進計画・第 3 次韮崎市食育推進計画・第 2 次韮崎市自殺対策計画」として一体的に策定

3 計画の期間

「いきいき健康プランにらさき」の計画期間は、令和 8 年度を初年度とし、「健康日本 21（第 3 次）」並びに「健やか山梨 21（第 3 次）」に準じて、令和 17 年度を目標年度とする 10 年間とします。

なお、今後の健康づくりの実績を踏まえ、策定から概ね 5 年後に中間評価と計画の見直しを行います。また、計画期間中、社会情勢の変化等を勘案し必要に応じ適時見直しを行うこととします。

ライフコースアプローチとは、胎児期、幼少期、思春期、青年期、成人期から高齢期までを繋げて考えた健康づくり。

別紙Ⅰ

提出締め切り 11/5(水)

第4次健康増進計画・第4次食育推進計画・第3次自殺対策計画 意見照会

氏名()

1. 目標とする指標について

■指標に設定することが望ましい項目

■理由(課題となっている背景や根拠、他市等の事例など)

2. 本市の課題、取組についてのご意見について記入ください。

提出方法:

メール kenkou@city.nirasaki.lg.jp (様式が必要でしたらお知らせください)

FAX 0551-23-4316

郵送 〒407-0024 韮崎市本町 3-6-3 保健福祉センター 健康づくり課